

## アフリカ カメルーン

**学校名** サンルナ小学校（「バフ・トレーニングセンター」内）

**校舎建設完成年月** 2013年6月

**開校年月** 2015年9月

### 教育内容

国規定のカリキュラムを幼稚園から小学校6年生まで教える。9月始業、6月修了。

### 概要

1995年より、女性の経済自立支援とエイズ予防教育促進のために、北西州バフ村にトレーニングセンター建設を計画。WFP カメルーンのメンバーとその協力者達が資金を募り、日本からの支援を得て、2013年6月に完成。地域の要望があり、2015年9月サンルナ小学校開校。



教師と児童たち

### 進展状況

#### 【2017-2018】

政情不安のため、バフ村に位置するすべての学校が閉鎖され、サンルナ小学校も2018年10月に休校となった。

児童数	幼稚園	1年	2年	3年	合計
2017	12	1	6	—	19
2018	—	1	2	5	8

## 初等教育支援：小学校運営と運営支援

## アフリカ エチオピア

### ノン・フォーマル教育子供支援プログラム 初等教育クラス「ワン・ホープ・ガーデン」運営

**概要：**1997年、首都アジスアベバ市ワレダ10地区で、貧困のため就学年齢に達しても学校に行けない児童のために無料の識字教育を開始したのが始まりである。2001年に政府より初等教育学校として認可された。3年間教育した後、制服・学用品を支援し、アジスアベバ公立小学校の4年生に編入させてきた。公用語のアムハラ語、算数、英語、社会科学、美術、音楽、体育を教えた。2003年より「ワン・ホープ・ガーデン」に通う貧困家庭の児童の学費を里親制度で支援している。

エチオピア政府が普遍的初等教育の達成に取り組んできた



最後の児童たち

結果、7歳の就学年齢に達した子供はすべて公立の小学校に入学するという方針がだされた。それに伴い「ワン・ホープ・ガーデン」のノン・フォーマル教育の使命が終了することになった。2017年6月、18人の3年生を公立小学校の4年生に編入させることで初等教育クラスを終了した。

## アフリカ リベリア

### 託児所・幼稚園・小学校「ピース・ハナ・スクール」運営支援

**概要：**1998年9月、政府の認可を受け、首都モンロビア市内の貧困地域に開校。託児所・幼稚園は、3～6歳の児童を対象に、基礎的な読み書き、歌、スポーツ、遊び、日本語、聖書などを教えている。

2002年、小学校コースを開校。教育省が定めたカリキュラムに沿った教科と外国語（日本語）に加えエイズ予防教育、エボラ対策のための衛生教育、家庭教育、道徳教育も実施。

学校は9月開始、7月修了。

学校行事などを通じて、PTAや地域の人々とも交流している。

### 進展状況

#### 【2017】

●エボラ感染拡大時に子供達はおもちゃに触ることができなかったため、子供達の心のケアも兼ねて音の出る絵本、ぬりえセット、ぬいぐるみを日本から持参して1月に寄贈。あわせて消毒薬、虫除け用品なども寄贈。



日本からの支援物資を寄贈

- 教室の壁がブロックになり、屋根の改修工事も実施。
- 地域の学校対抗スピーチコンテストで当校の子供達が優勝し、学校のイメージアップになった。
- 小学生高学年にはコンピューターの授業を開始。

#### 【2018】

- 教室の床をセメントで張り、イス・黒板・教室の仕切りの新設、壁の塗装、トイレのパイプ修理などを実施。
- 運動会やスポーツ大会などの学校行事に地域の子供達を招待することが、学校のPRと地域の交流に役立った。

児童数	託児所	幼稚園	小学校	合計
2017	40	18	51	109
2018	31	15	66	112